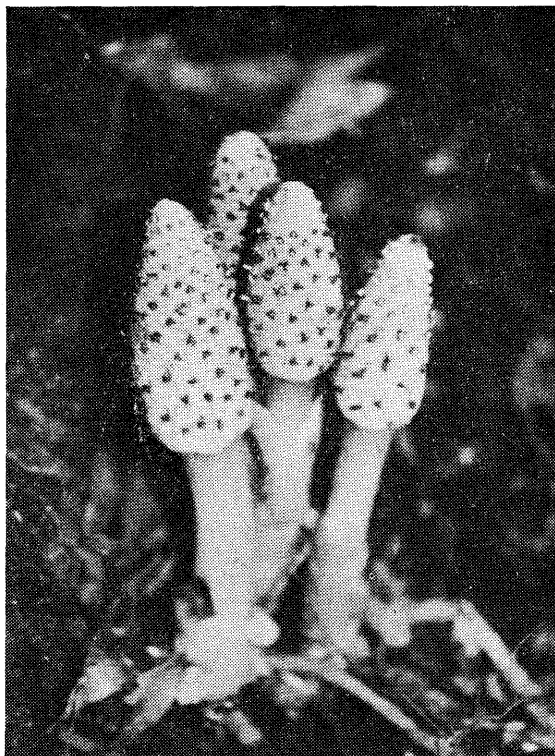


下^{した}

萌^{もえ}



▲キイレツチトリモチ

日本では九州地方にのみ発生する寄生植物である。十月ころ、トベラ、シャリンバイ、ネズミモチなどの根に寄生して発生する。

根茎は地中で寄生植物 (Host plants) の根に寄生して養分を吸収し、葉は退化してわずかに鱗片として残り、花が花穂となって開く。

花穂の黒くみえるところは全部雄花の咲き終ったあとである。

文・写真 阿久澤栄太郎